

# 「介護の未来をかけた」 介護の日行動学習会に84名(延べ)参加

11月11日(土) 1部:学び 2部:行動 3部:交流をコンセプトに学習会を開催しました。

### ☆1部 学び・・・74名参加

あずみの里裁判で、無実を勝ち取るために職場で頑張っている長澤健一さん、森山明さんを迎え、事故の概要、起訴内容、事故当日の再現DVD、今後の戦い方、生々しい検察の尋問内容について報告を受けました。学習会終了後にカンパ10万円(一次分)と約300名から寄せられた「激励一言カード」を添付したタペストリを贈りました。

デザインは老健 樹の丘 中村さん、遠矢さん、西田さんにご協力頂きました。



「自分だったかもしれない」、学習会での特養あずみの里の元職員による話を生で聞き、この裁判で無罪を勝ち取らなければ、職員不足で悩む介護業界に未来はないと改めて思った。署名活動では、介護保険改善・介護職員処遇改善、特養あずみの里職員の無罪を求める訴えをする中、駅前足早に行きかう人の多い中で、足を止めさっと署名をして下さる人、熱心に話を聞いて下さる人等おり、応援団はいる！と実感できたので参加できてよかった。

おおしまケアプランセンター 南里あゆみ

## ☆2部 行動・・・63名参加 (1時間の行動で179筆)

心配された天気も味方し、横浜駅西口の一角を占領し大宣伝行動となりました。

マイクアピールには約20人があずみの里裁判支援、介護保険制度の改善署名のお願いと介護現場の現状を訴えました。思いがこもったアピールに通行人が自分のことと共感し署名をして下さいました。

あずみの里裁判署名112筆、介護保険制度の改善署名67筆と最高の成果で行動を終了することができました。



第一部のあずみの里裁判学習

会では、実際に裁判で証人尋問に立ったお二人の話を聞いていくうちに、私たちが働く現場ではいつでも起こりうる事であり、誠実に対応していても、このように訴えられてしまえば、怖くて働けなくなってしまうと感じました。山口さんと私たち介護職のためにも無罪を勝ち取ってほしいです。第二部の宣伝行動・署名活動では思いの外、署名して下さいの方が多く、外は寒かったですが、心は温かい気持ちになりました。＝うしおだ老健やすらぎ 鈴木田可奈子＝

今回の学習会にたまヘルパーSTからは8名で参加させていただきました。宣伝行動には当初4名の参加希望でしたがあずみの里の職員さんの話に感動し、「自分達も行動しなくては」と思い6名が参加しました。介護の未来をかけた裁判の勝利を心より祈っています。

＝たまヘルパーST 落合 真吾＝

## ☆3部 交流会・・・43名参加

長澤さんと森山さんの激励を兼ねた大交流会を高級上海料理「上海大飯店」で行ないました。

片倉委員長のあいさつ、乾杯の後はご歓談とお二人への質問コーナー、ゲーム大会と続き盛りあがりました。職場の雰囲気はどうか？質問に・・・山口さんを含め職場全体は良くまとまって楽しく仕事をしていると聞き安心しました。



低酸素脳症との事ですが、誤嚥・窒息をした事による物という証明がつかないのに業務上過失致死の罪に問われるのはおかしいのではないのでしょうか？

介護現場ではたくさん病気を抱えていつ何があってもおかしくない状態の方ばかりです。その方達が亡くなる度に罪に問われてしまうような職業にだれもつきた

くないと思います。他人事ではなく明日は我が身と思いました。

＝ヘルパーST ふかさわ 安本 雅美＝

この裁判は、同じ介護職で働いているものとして決して他人事ではなく、いつ自分達にも同じことが起きてもおかしくない事だと思います。亡くなった方に対しての気持ちを裁判に持ち込むことなく、ありのままを冷静に裁判で証言する事の難しさを感じました。まだ、裁判は続いていくので山口さんには体調を崩さずに過ごして頂きたいと思います。＝ヘルパーST うしおだ 佐藤 久美子＝



あずみの里の長澤さんと森山さんから話を聞く事が出来ました。事故の概要や裁判に至るまでの内容、実際の証人尋問での様子を細かく説明して下さいました。他人ごとではない問題なので、署名の呼びかけなど私も出来る事をしたいと思います。

＝ヘルパーステーションうしおだ 田中 沙央里＝



講師という形でしたがこちらの方が、感動を戴きました。神奈川の皆さんの宣伝行動や裁判支援に対する力強く、温かい気持ちが伝わり、あずみの里にしっかりと報告させてもらいました。私自身も尋問が控えています、今回の学習会を通じて皆さんとのつながりを実感し、強い気持ちでのぞめます。本当にありがとうございました。皆様によろしくお伝えください。2次会も力強い職員さん方に囲まれとても楽しく過ごすことが出来ました。

＝あずみの里 長澤 健一より＝